

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38466	
事業名	ラグビー普及振興費						
評価担当課	所属名	ス)スポーツ部 企画事業課					
	課長名	深井 貴広	担当者名	大友 健資	電話番号	011-211-3044	
施策名	主	シティプロモート戦略の積極展開					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	小学校の授業におけるタグラグビー実施率80%				
		長期	札幌市のスポーツ実施率等の上昇を図り、スポーツ都市としてのブランド向上を目指す。				
	取組内容	ラグビーの普及振興を行うことで、札幌市のスポーツ実施率等の上昇を図り、スポーツ都市としてのブランド向上を目指す。 【概要】 ①小学生向けタグラグビー親子教室 ②札幌ドームでのトップリーグの試合や国際試合(テストマッチ)の誘致					
実施結果	・市内小学校での授業におけるタグラグビー実施率が97%となった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の感染状況、チームの移動及び運営における感染リスクを鑑み、試合誘致を中止。 ・札幌市内小学校(全197校)にタグラグビーの出前授業を61校、教員実技研修6校で実施。 ・冬休み期間にタグラグビー親子体験教室を実施し、130名が参加(新型コロナウイルス感染症の影響により、5日間開催予定のところ2日間中止)。						
事業実施における工夫点	小学校へ出前授業時には本市ホームページに掲載している指導解説動画を紹介し、子どもや教員への授業支援につながった。						
対象者	市民全般			開始	令和2年度	終了	令和5年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	2019年の大会開催後に、レガシー継承に関して各開催都市が進める取組を「ラグビーワールドカップ2019未来計画」として取りまとめている。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	201	8,000	1,946	10,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	1.4	1.4	1.4	0.3	
人件費	10,080	10,080	10,080	2,160	
計(事業費+人件費)	10,281	18,080	12,026	12,160	
事業費の内訳	令和3年度決算	・タグラグビー出前授業及び教員実技研修チラシデザイン制作業務:61千円 ・タグラグビー親子体験教室運營業務:1,885千円			
	令和4年度予算	・タグラグビー親子体験教室:3,200千円 夏休み期間:1日400千円×3日=1,200千円 冬休み期間:1日400千円×5日=2,000千円 ・ホヴァリングステージラグビーモード転換費:4,000千円 (4,000千円×1回=4,000千円) ・札幌ドーム利用料金1/3負担:2,800千円(2,800千円×1回=2,800千円)			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	小学校の授業におけるタグラグビー実施率			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	74%	70%	97%	80%	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部教室は中止となったが、小学校でのタグラグビー実施率は大幅に上昇し、札幌市のスポーツ実施率等の上昇に寄与したものとする。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	・保護者と子どもの体験教室としており、事業規模としては現在の規模が適切であるとする。 ・小学校からの出前授業等の依頼(出前授業61校、教員実技研修6校)に対し、北海道ラグビーフットボール協会と連携を図ることで全て対応でき、事業規模として適切であるとする。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	北海道ラグビーフットボール協会と連携し、出前授業等実績のあるアスリートを講師として派遣してもらっており、実施手法として適切であるとする。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	・子どもや小学校の教員などから好評(事後アンケートによる満足度94%)をいただいております。満足度は非常に高いととらえています。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	より効果的な事業及び企画を検討しつつ、現在の事業規模は維持していく。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	コロナ禍でトップレベルの試合誘致は中止となったが、タグラグビーの出前授業等を実施するなど、ラグビーの裾野拡大事業として十分に評価できる。また、指標であるタグラグビー実施率が目標値を大きく上回っており、事業の成果が十分に出ていると考えている。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 競技団体と連携を図り、継続的な競技者の増加に向けた事業を計画する。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 裾野拡大により競技者増につなげていくため、体験教室の拡充などを検討していく。		見直し効果額	0 千円